D E S I G N

～ 換 気 を 徹 底 し ま し ょ う ～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

Ｄｅｓｉｇｎ号外８３号です。認定看護師セミナーの報告、認知症疾患医療連携協議会開催の報告などを掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出　弦）

令和５年度第２回 認定看護師セミナーを開催しました

～ 多数のご参加ありがとうございました ～

１０月１日（日）、今年度第２回目の認定看護師セミナーが開催されました。前回と同様 ZOOM によるネット配信での開催となりました。今回は、岩崎皮膚・排泄ケア認定看護師、雨宮救急看護認定看護師、大野がん性疼痛看護認定看護師の３名が講師として登壇しました。３時間、３題の長丁場となりましたが、院内からは４４名、院外からは９名の方にご参加いただきました。

１題目の「ストーマケアの基本と実践～シームレスなケアを考える～」では、岩崎看護師の実践経験に基づいて、技術的な内容だけでなく、ストーマを持った患者の受容を促すケア、精神的な援助の重要性まで話され、ストーマケアの奥深さを感じました。

２題目の「発熱患者はまず隔離？～今一度　感染対策を考える・外来現場より～」では、外来の現場で感染症が疑われる患者を特定し、情報収集とトリアージを行い、標準予防策を徹底しながらどのように感染拡大を予防していくかについて話され、改めて標準予防策の効果の大きさを実感しました。

３題目は、「高齢患者の意思決定支援～がん、認知機能低下の患者との関わり～」と題し、がん治療の選択、人生の最終段階における意思決定など、本人の価値観を理解し、多職種で支援する実践的な内容が話されました。“意思決定の能力は、本人の個別能力+支援者の支援能力”との話では、改めて支援能力の向上に努めていきたいと思いました。

３題いずれも実践で培われた濃い内容で、大きな学びを得ることができました。ソーシャルワーカーは直接看護ケアを行いませんが、知っておくことで退院支援の質の向上につながると考えています。これからも機会がありましたら、皆さんと共に学びたいと思います。

次回は、令和６年１月２１日（日）に開催予定です。（地域医療連携室 係長 中嶋　庸介）

問い合せ先

～ 年末年始もお受入します ～

例年のこととなりますが、年末年始も地域包括ケア病棟“彩り”では患者さんの受け入れをさせて頂きます。ベッドの段取りがありますので、お早めにご連絡頂きましたら幸いです。

０７７４－７３－１８１８（担当：松田・中嶋）

認知症疾患医療連携協議会を開催しました

～ 久しぶりの対面開催となりました ～

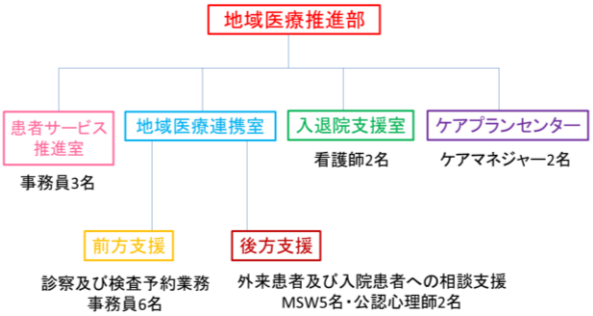
１０月１３日（金）、認知症疾患医療連携協議会を開催しました。コロナ禍でオンラインでの開催が続いていましたが、今回は対面で開催することができました。

まず、当院から認知症疾患医療センターの活動報告をさせて頂きました。認知症の受診件数や相談件数の他、地域の先生方からもの忘れ外来へ患者さんをご紹介して頂きやすいよう、院内の医師によるもの忘れ外来の受診枠を別に設けさせて頂いたことなどを報告しました。活動報告の後は、精華町北部地域包括支援センターの西林様より、精華町での取り組みについて教えて頂きました。専門職、行政、地域住民の方々が「チームオレンジ」として連携し、当事者の方やご家族が暮らしやすい街づくりを目指しておられることが大変よく理解できました。

（地域医療連携室 公認心理師 久田　温子）

地域医療連携室

～ 地域医療推進部について ～



地域医療推進部は、地域医療連携室、入退院支援室、患者サポート推進室、ケアプランセンターから構成されています。地域医療連携室は、地域の診療所の先生からの診察・検査予約業務（前方支援）とソーシャルワーカー（社会福祉士）と公認心理師による相談援助業務（後方支援）を担い、入退院支援室では、担当看護師が入院予定患者さんへの聞き取りや地域の先生方からの救急依頼の初期対応及びベッドコントロール業務を担っています。また、患者サービス推進室は、研修を受けたスタッフが、患者さんのお困りごとやご意見・ご要望などに対応し、病院運営に活かしています。ケアプランセンターは２名のケアマネジャーが要介護認定を受けているご利用者の支援をさせて頂いており、必要に応じてソーシャルワーカーと連携しています。

地域医療推進部のスタッフ（全員ではありません）

在宅、外来、入院、退院のあらゆる場面で地域医療推進部のスタッフが関わらせて頂いています。患者さんや関係機関の皆様に当院を選んで頂けるよう、業務に取り組んでいます。ご意見、ご要望などがありましたらお寄せ下さい。

（地域医療連携室 室長 南出　弦）